

## 【コース ID : 47】 基礎数学 BII

## 47.5 二項定理

## 47.5.1 二項定理

## 問題 001 (バリエーション No.122)

$(x - 4)^5$  の展開式における  $x^2$  の項の係数は  である.

二項定理より  $(ax + b)^n$  を展開した時における  $x^k$  の係数は  ${}_nC_k a^k b^{n-k}$  である.

$a = 1, b = -4, n = 5, k = 2$  とすると

$${}_5C_2(-4)^3 = \frac{5 \cdot 4}{2 \cdot 1} \times (-64) = -640$$

よって  $x^2$  の係数は  $-640$  である.

【答】  $-640$

## 問題 001 (バリエーション No.408)

$(3x - 2y)^5$  の展開式における  $x^3y^2$  の項の係数は  である.

二項定理より  $(ax + by)^n$  を展開した時における  $x^k y^{n-k}$  の係数は  ${}_nC_k a^k b^{n-k}$  である.

$a = 3, b = -2, n = 5, k = 3$  とすると

$${}_5C_3 \times 3^3 \times (-2)^2 = 10 \times 27 \times 4 = 1080$$

よって  $x^3y^2$  の係数は  $1080$  である.

【答】  $1080$

## 問題 002 (バリエーション No.281)

$(x + y + z)^6$  の展開式における  $x^2yz^3$  の項の係数は  である.

展開式における各項は、各括弧の中から項を 1 つずつ選び、それらを掛け合わせたものとして得られる.

$$\begin{array}{ccccccc}
 (x + y + z)^6 & = & (x + y + z) & \times & (x + y + z) & \times & \cdots \times (x + y + z) \\
 & & \downarrow & & \downarrow & & \downarrow \\
 & & x & \times & y & \times & \cdots \times x
 \end{array}
 \quad \leftarrow \begin{array}{l} \text{1 つ選ぶ} \\ \\ \end{array}
 \quad = \quad x^2yz^3$$

よって  $x^2yz^3$  の係数は、各括弧から  $x$  を 2 つ、 $y$  を 1 つ、 $z$  を 3 つ選ぶ選び方の総数に等しい.

$x$  の選び方は  ${}_6C_2 = 15$  通り、 $x$  を選んだ後の  $y$  の選び方は  ${}_4C_1 = 4$  通りなので、 $x^2yz^3$  の係数は  $15 \times 4 = 60$  となる.

【答】  $60$

上と同様に考えることで、一般に  $(ax + by + cz)^n$  を展開した時の  $x^p y^q z^r$  (ただし,  $p + q + r = n$ ) の係数は

$$\frac{n!}{p! \, q! \, r!} a^p b^q c^r$$

で与えられることが分かる。これを三項定理という。(基礎数学 BII : いろいろな順列を参照)

**問題 003 (バリエーション No.100)**

$(x^2 + x - 1)^6$  の展開式における  $x^8$  の項の係数は **アイウ** である。

$(x^2 + x - 1)^6$  を展開した時に現れる項は

$$(x^2)^p x^q = x^{2p+q}$$

という形をしている。ここで,  $0 \leq p$ ,  $0 \leq q$  かつ,  $p + q \leq 6$  である。

この条件を満たしつつ  $2p + q = 8$  となる  $(p, q)$  の組み合わせは

$$(p, q) = (4, 0), (3, 2), (2, 4)$$

の 3 通りである。  $r = 6 - (p + q)$  として、各場合において上で述べた三項定理から係数を求めると

$$(p, q, r) = (4, 0, 2) \text{ のとき } \frac{6!}{4! \, 0! \, 2!} (x^2)^4 \cdot x^0 \cdot (-1)^2 = 15x^8$$

$$(p, q, r) = (3, 2, 1) \text{ のとき } \frac{6!}{3! \, 2! \, 1!} (x^2)^3 \cdot x^2 \cdot (-1) = -60x^8$$

$$(p, q, r) = (2, 4, 0) \text{ のとき } \frac{6!}{2! \, 0! \, 4!} (x^2)^2 \cdot x^4 \cdot (-1)^0 = 15x^8$$

よって  $x^8$  の係数は  $15 - 60 + 15 = -30$  である。

**【答】**    **−30**